

参加費：無料

交流会：5,000円

第21回 関西部会講演会

自動運転に向けた最新の研究動向やデジタルツインの実用化事例、
製造業におけるAI活用の最前線ユースケースを紹介する講演会を開催します

<講演会場と遠隔視聴のハイブリッドで開催>

日時 2025年6月18日(水) 13:30~17:00 (受付13:00~)

会場 AP大阪駅前 APホール I 大阪市 北区 梅田 1-12-12 東京建物梅田ビルB2F&WEB

申し込み 申込サイトからお願いします(裏面を参照願います)

開会あいさつ
13:30~13:35

NPO法人 M2M・IoT研究会 関西部会

部会長 西村 雄二

講演-1
13:35~14:35

自動運転の現状と課題

名古屋大学 未来社会創造機構

モビリティ社会研究所 特任教授 二宮 芳樹 様

自動運転の現状は、米中では既に無人タクシーサービスが拡がり、新型EV車には一般道でも数時間介入なしで走行できる運転支援も装備化されている。日本では国プロで本年は50箇所に向けての無人モビリティサービスも開始され、高速道でのトラックの自動運転も試験走行中で、まさに今年は自動運転元年である。2010年代の自動運転ブームはLiDARや高精度地図などの技術特徴を持ち、その集大成がWaymo等の無人タクシーサービスであるが、安全性検証やコストが残存課題である。最近トレンドのLiDARや高精度地図を使わないE2E自動運転はL2(運転支援)に留まっておりL4達成が課題であり、自動運転の現状と課題について、解説・紹介する。

休憩

10分 (14:35~14:45)

講演-2
14:45~15:45

NVIDIA Omniverse™が拓く製造業DXと

デジタルツイン活用の最前線

株式会社理経 次世代事業開発部 執行役員 部長 石川 大樹 様

製造業におけるDX推進を背景に、デジタルツインの活用が急速に進んでいる。リアルタイムシミュレーションやAIとデジタルツインを連携させることで、開発・生産・教育の高度化を実現する事例も増えている。本講演では、NVIDIA Omniverse™とOpenUSDを活用した最新の3Dワークフローをご紹介します、デジタルツインのもたらす価値や、GPUが切り拓く新たな可能性について解説・紹介する。

休憩

10分 (15:45~15:55)

講演-3
15:55~16:55

製造業における生成AI活用のユースケースと

関連技術要素 (RAG、MCP) の解説

クラスメソッド株式会社

製造ビジネステクノロジー部 マネージャー 濱田 孝治 様

デジタル化が他の業界に比べても遅れていると言われている製造業ですが、近年の生成AIの急激な発展により、その活用領域は大きく広がっている。本講演では、ハノーファーメッセ2025で注目されていた製造業におけるAI活用の最前線ユースケースと、関連する技術要素 (RAG、MCPなど) について解説・紹介する。

閉会あいさつ
16:55~17:00

NPO法人 M2M・IoT研究会 関西部会 幹事会幹事 石田 一成

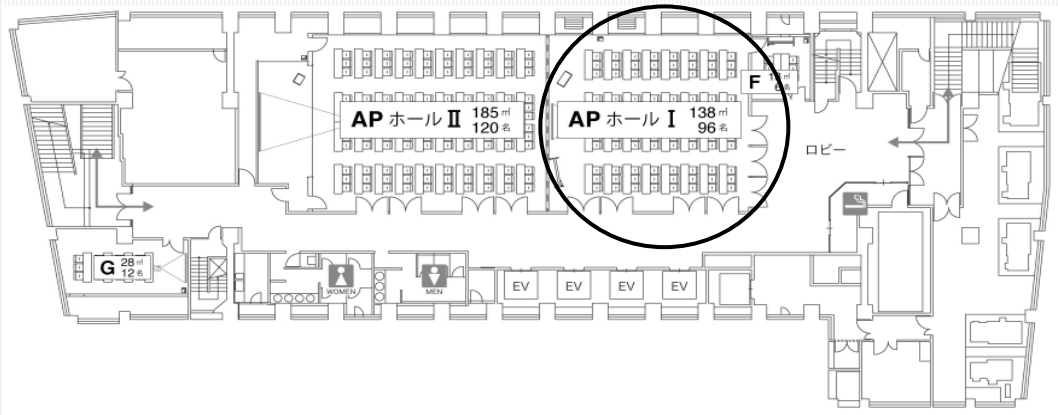
日東コンピューターサービス株式会社 代表取締役

講演会会場、交流会会場、申込方法

講演会会場



B2F



交流会 会場

講演会会場と同じAP大阪駅前（Eルーム）を予定しています。
ご講演者、会員紹介の関係者、および参加者との交流の場です。
多数の方のご参加をお待ちしております。

WEBでのお申込

<https://www.m2msg.org/?p=6140>

MAILでのお申込

contact@m2msg.org

※メールにてお申込みいただく場合は、企業名・団体名、氏名、メールアドレス、参加方法（会場／リモート）、交流会参加有無、および会員／非会員／賛助会員／学生の区分をご記入ください。

参加者へのお願い

発熱や体調不良の方のご来場はご遠慮ください。

お問合せ

関西部会事務局： 06-6227-4002 （日本マイクロシステムズ(株)内）

